

予算決算委員会総務文教分科会記録

1 日 時 令和2年5月1日（金曜日）

開 会 午前10時47分

休 憩 午前11時25分

再 開 午前11時37分

閉 会 午前11時46分

2 場 所 第1委員会室

3 出席委員 9人

分科会長 成 田 光 雄

分科会副会長 松 尾 茂

委 員 久 保 大 憲

// 上 野 蛍

// 大 島 満

// 横 野 昭

// 村 石 篤

// 赤 星 ゆかり

// 有 澤 守

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長 舍 川 智 也

6 説明のために出席した者

【監査委員事務局】

事務局長	中島 善一
参事（事務局次長）	森 俊彦

【企画管理部】

部長	前田 一士
部次長	砂田 友和
部次長（行政改革・公共施設再編・人事管理担当）	渡辺 康裕
参事（職員課長）	鎌田 泰史
企画調整課長	刑部 博規
広報課長	岡本 由紀恵
企画調整課主幹（調整担当）	岸 聡之

【教育委員会】

事務局長	牧田 栄一
事務局次長（総務・社会教育担当）	山本 貴俊
事務局次長（学校教育担当）	大久保 秀俊
教育総務課長	石黒 健一
教育総務課主幹（調整担当）	中山 武史

【財務部】

部長	中田 貴保
部次長	酒井 秀祐
部次長（税務担当）	吉武 稔
参事（財政課長）	古西 達也
納税課長	追分 禎一郎
資産税課長	秋 俊浩
財政課主幹（調整担当）	東 覚

7 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長代理

中山 崇

議事調査課主任

熊谷 法子

議事調査課主任

牧石 真理

8 会議の概要

分科会長 ただいまから、令和2年5月臨時会の予算決算委員会総務文教分科会を開会いたします。審査に先立ち、分科会記録の署名委員に久保委員、上野委員を指名いたします。各案件の審査については各部局単位とし、お手元に配付してあります審査順序のとおり行う予定であります。なお、質疑については、議案に直接関係あるものだけをお願いいたします。また、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたします。これより、監査委員事務局所管分の議案の審査を行います。

議案第87号 令和2年度富山市一般会計補正予算（第1号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出第2款総務費中、監査委員事務局所管分

を議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

監査委員事務局長 〔挨拶〕

監査委員事務局次長 〔議案書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第87号中監査委員事務局所管分の意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、監査委員事務局所管分の議案の審査を終了いたします。
監査委員事務局の皆さんは退室願います。
説明員を交代いたしますので、しばらくお待ちください。

〔監査委員事務局退室／企画管理部入室〕

分科会長 これより、企画管理部所管分の議案の審査を行います。

議案第87号 令和2年度富山市一般会計補正予算（第1号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出第2款総務費中、企画管理部所管分
を議題といたします。
これより、順次、当局の説明を求めます。

企画管理部長 〔挨拶〕

企画管理部次長 〔企画管理部所管分の概要について、議案説明資料により説明〕

広報課長 〔議案説明資料により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

大島委員 広告について、テレビで市長の広告を見ますが、まず、未執行の2,025万4,000円の流用について、項目はどこからの流用でしょうか。

広報課長 選ばれるまちづくり事業の中で、まだイベント等を開催していないものがございましたので、その中から流用いたしました。

大島委員　　まず、森市長の最初のテレビコマーシャルは、犠牲者を一人も出さないということで一残念ながら犠牲者が出て3密という形に変わりましたが—この放送内容については、市のほうで企画をしたのか、それともテレビ局側の持ち込み企画ですか。

広報課長　　3月30日に感染者が判明して、緊急性を持って啓発したいと思い、市の企画で放送したものです。

大島委員　　2つのパターンを撮られたということでしょうか。

広報課長　　30日に感染者が1人判明してからは、1日数名程度の感染者数でしたが、その後、100名を超える感染者が出たので、2つ目は「もっと強く啓発するような映像のものを」ということで、2つ撮ってございます。

大島委員　　富山県下はある程度全部流れていると思うのですがけれども、新しいもので、例えばゴールデンウィーク前にゴールデンウィーク中は自粛をしてくださいというパターンとか、こういうテレビ、ラジオよりも、記者会見とか、お金がかからない方法の企画というのは考え

られなかったのでしょうか。

企画管理部長 少し整理して、改めてお答えさせていただきたいと思いますが、先ほど広報課長のほうからも申しましたように、3月30日に初めて市内で感染者が判明いたしました。これは、全国の都道府県で感染者が出た順番で言えば43番目、遅いほうから数えると5番目ということで、富山市内でも少し一他人事とは申しませんが、まだ身近なものとは捉えていないような雰囲気が漂っていた時期でありました。

けれども、この3月30日に初めて感染者が判明して以降、他府県の動向を見ておきますと、やはり急激に増加するということが懸念されたものですから、4月1日、2日と自前でポスターを作成するとともに、先ほどもお尋ねのあったテレビコマーシャルとか新聞広告など、まず市民の行動、意識を変えるための対応が早急に必要だということで、キャンペーンをしなければなりませんでした。

当然、そういった予算は当初予算では持っていないので、たしか4月3日だったと思いますけれども、私から正・副議長、それから、総務文教委員会の正・副委員長に、今こういう状況でありますので、ぜひとも既定

予算、当初予算の中で対応させていただきたいと、様々なマスメディアを使って、市民に啓発キャンペーンを一刻も早く打たせていただきたいということをお願いをしました。そして、予算を一時的に使うのですけれども一そのときは6月補正ということ想定していたのですが一本日5月臨時会にその補正を出させていただいたわけでございます。

御案内のとおり、今回の新型コロナウイルスというのは非常に厄介なものつまり、予防のためのワクチンもない、それから、アビガンとかもございませけれども、完全な治療薬もないという状況です。その中で、例えばリーマンショックなどの世界的な経済危機ということもこれまで経験しており、そのときは公共投資など、市債を大量に発行して何十億円の経済対策を行いました、今回はそういうことはできないと。今回そういうことをすれば、人の健康を害し、生命を脅かすことになりますので、この新型コロナウイルスを抑えるためには、何よりも一人一人の意識を変え、行動を変えること、そのことが一番大切だということから、テレビ、新聞等のマスメディアなど、あらゆるものを使ってキャンペーンを展開してきたわけであります。

当面は6月までと考えておりますけれども、

長期戦になることも予想されますので、必要があれば、また次の補正ということについてもお願いをしたいというふうに考えているところでございます。

横野委員

非常に費用がかかるわけなのだけれども、テレビなどは全県下に流れますよね。富山市内だけを中心に物を考えたときに、例えば街宣車を使うとか、あるいは一これは消防とは意識が違うけれども一消防車を使って街宣する、コロナへの注意喚起で市内一円回るとか、そういったあまり費用のかからない方法で富山市民に知らせることも方法かなと。

もう1点は、県との連携ですよ。県ももちろんテレビで流しています。ただ、市も流していて、テレビの画面では非常にいろいろな場面で出てくるのだけれども、それでも効果がないとなると、また違う意味で啓発する事業を考えるべきではないかと。

なるべく費用がかからないとなると、一番無難に回れる消防分団の車を活用して街宣するという方法も検討できるのではないかと思います。その辺りはちょっと検討していただけないかと思えます。費用をかけないための方法論ですよ。

企画管理部長 今委員から御指摘のありましたように、市の広報車につきましては、もう既に街宣させております。

それから、防災行政無線、これにつきましても、それぞれ定期的に、時間を決めて、毎日のように周知をしております。

県もやっているから市はいいのではないかというようなお尋ねであります。それは逆であります。これは、一番早くに取り組んだのは富山市です。県は、最近になってテレビとか新聞報道でやっておりますけれども、やはりこれは繰り返し、しつこいくらいにやらないと、やはり人というのは、我々も含めて、どうしても油断してしまいますので、いろいろなマスメディアの協力も仰ぎながら、いろいろなやり方で、集中的に、しかも計画的に、飽きさせないようにやるということが大事だというふうに思っております。県がやっているから富山市はいいという考え方ではなくて、8割、9割の感染者が富山市内にいるわけですから、県にもやっていただくことは必要でしょうし、富山市としても今やるべきことはしっかりやるということが大事だと。

もちろん経費的なことも考えて、ほかにもやれる方法は、あらゆる知恵を絞って総動員をしてやってまいりたい所存です。

今、5月5日号では少しショッキングな広報も出させていただきましたけれども、やはり危機感を皆さんに共有してもらおう、感じてもらうための取組というのは一番大事だと考えておりますので、そこはぜひ御理解いただきたいと思っております。

赤星委員 今、市の広報車が回っているとおっしゃいました。私が昨日たまたま庁舎から帰るときに、前に「こちらは富山市の広報車です」と街宣しておられたのですけれども、これは何台あるのですか。

広報課長 放送には広報課が協力させていただいたのですが、所管は生活安全交通課で、その台数等については、詳しいことは存じ上げません。

赤星委員 今、コロナ関連の影響を受けて、市の公用車で仕事にあまり出ていない車とかはどれくらいあるのでしょうか。そういうものも活用して広報できないのでしょうか。

（「企画管理部では答えかねる内容ではないか」と発言する者あり）

赤星委員 今、大島委員と横野委員もおっしゃいました

けれども、最初に議案の説明をお聞きしたときに、特にテレビCMの費用がすごく高いなと感じました。

どこの首長さんも割と会見などに出てきておられるのですが、富山市長の姿はCM以外にテレビで見かけないのです。会見など、やはりお金をかけない方法で工夫してもらいたいと思うのです。

これだけの金額をテレビCMにかけるのだったら、先ほどありました子育て支援ですとか介護事業所だとか、そういった本当に直接の市民の生活やなりわいへの支援に回してほしいなと思うのです。今日の分科会での質疑を受けてぜひ検討していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

企画管理部長 もちろん費用対効果といいますが、最少の経費で最大の効果を上げるということは、行政を進めていく上での大原則であります。

ただ、今、本当に大事なとき、感染爆発が起きる、このままでいいたら本当に危機的な状況になる、そういうことを考えますと、やっぱりいろいろな機会に広く、目にして、耳にして、今これだけステイホームというふうなことが叫ばれていて、皆さんテレビを見る機会もおありになると思います。新聞をじっくり

り読まれる機会もあると思います。そうしたときにこそ、やはりしっかりとマスメディアを使って訴えていくということも一番効果的であろうと。

もちろん、先ほどからおっしゃっておられたような、いわゆる市の持っている施設とか車とか、そういったものを使いながら、そしてまたポスターも、一番最初のポスターは広報課の職員が一夜漬けで作ったものですが、それを全部印刷して、自前で各施設に貼りました。我々は、本当にやれること、今やらなければならないことをやっております。

テレビの効果がどれだけあったのかということについては正直言って分かりませんが、でも、しっかりそれを訴えることが今大事だろうというふうに考えております。

なお、富山市の政策参与で博報堂出身の深谷信介さんという方がいらっしゃいますけれども、この方からは、私にメールで、富山市がいち早くマスメディアを使ったりしてスピーディーにやったということは非常に驚くべきことだと、今後市民を飽きさせないように、これは長期戦だから継続的にいろいろなことに取り組んでいくことこそが大事だ、というふうな御指摘、アドバイスも頂いておりますので、そういったことも一つの励みといいま

すか、1つの基準としてやらせていただきたいと考えております。

なお、先週木曜日ー4月23日でしたか、自由民主党富山市連のほうから中川支部長がいらっしゃって、新型コロナウイルスに関しまして、富山市への要望書が市長に出されていましたが、その一番最初の項目には、ゴールデンウィーク前に市長自ら外出自粛への強いメッセージを市民に発信してほしいというような御要望もございました。

今、緊急事態宣言も延長される方向で検討が進められているという状況でありますので、また今この機会に、改めて市長からの強いメッセージを発信するために、テレビあるいは新聞などを通じて、市民に広く強く訴えていくような企画も検討しているところでございますので、よろしく御理解のほどお願いしたいと思っております。

村石委員

私からもこの件について何点か質問いたします。

ここに、広く市民に感染防止のための注意喚起を行うための周知、広報ということがあるのですけれども、例えばその1つとして、路面電車にラッピングをするとか、そういうようなことは検討されたのでしょうか。

広報課長 車両等のラッピング等については結構時間がかかります。緊急を要しておりますので、今のところは考えておりません。

村石委員 もちろんラッピングするには時間がかかるということもありますけれども、先ほど部長からも長期戦になる可能性もあるということで、路面電車にラッピングをすること自身は非常に周知効果があると思います。

もう一つ、バナーフラッグもありますよね。チンドンのバナーフラッグとか、いろいろなもので呼びかける方法もあるし、そういうことは検討されたのでしょうか。

広報課長 バナーフラッグにつきましても、とにかく3月30日の発生時から緊急を要するということで、できるだけ早く市民の皆さんに強く啓発したいと思っております。即、目にできるようなところにまず啓発の方法を取ったわけでございます。

企画管理部長 今ほど、いろいろな御指摘もございました。とにかくやっぱりいろいろなことをやるということがまず大事だと思いますので、今御提案のあったことにつきましてもまた検討して、実現可能なものはできるだけ対応するように

していきたいというふうに考えております。

村石委員

このテレビ、ラジオ等の広告放送に3,000万円を超えるお金がかかっているということは、一部の市民の人からは、やはり金額が大きいというようなことも聞いています。

要するに、部長は部長で、富山市は特殊な状況だと。県内の感染者の8割、9割が富山市なので、富山市が積極的にやらなければならないということ自身は別に否定するわけではありませんけれども、やはりここは、チーム富山市民だけではなくてチーム県民、富山県民が一丸となって取り組んでいこうということから考えれば、私は、例えば県と市町村—例えば市町村連合会ですね—と連携をしてテレビコマーシャルを作ったほうがいいという具合に思っています。

そこで、それはそれとして言いましたけれども、市長の出演ですね。これは今、市長が出演していますけれども、市長以外についても、市民、県民にアピールする方、そういう人たちの起用というものは検討されたのでしょうか。

広報課長

市民に対して発信力のある方の起用ということについては、今後考えてまいりたいと思います。

ます。

村石委員

今、ユーチューブとかテレビとかで、いろいろな年代、職種、いろいろな人たちが一生懸命呼びかけています。逆にそのほうが市民に受け入れられやすいことも考えられると思うのです。絶対それがベストとは言いませんけれども、いろいろなことを考えていく必要があると思っています。

そこで、最後にしますけれども、いわゆる呼びかけ方ですね。要するに、どういう呼びかけ方をするのかということで、今、専門家の人からもいろいろ言われています。恐らく深谷 信介さんも言われていたと思うのですけれども、呼びかけ方は、未来に働きかけて、ポジティブなイメージで市民、県民にメッセージを送ると。何々したら駄目、何々しなさい、というのも呼びかけ方の1つなのですけれども、一緒にこういうことをしましょうとか、そのことを一緒にやれば未来がこうなりますとか、いろいろな中身があるのですけれども、そういう中身についても十分検討してほしいということで、例えば富山市民病院の臨床心理士の方……

分科会長

村石委員、簡潔・明瞭をお願いします。

村石委員 富山市の職員には臨床心理士が何人もいらっしゃいますので、そういう方の知恵を借りたりして取り組んでいただきたいと思いますのですが、どうでしょうか。

企画管理部長 先ほども申し上げましたが、これにつきましては、やっぱりあらゆるアイデアなど、実現可能なものを今はとにかくやる時期だと考えております。

今御指摘のあったことについても十分参考にさせていただきたいと思っております。

それから、予算に表れないことも実はたくさんやっています。一例を挙げますと、今、民放3局とNHKが共同でアナウンサーが出演してやっておられますが、実はあれは富山市から働きかけをさせていただきました。それが1つのきっかけになったかどうかは分かりませんが、民放の方をお願いをして、「じゃ、ちょっと声をかけてみるわ」というふうな御発言もありました。

我々は何も富山市だけでやっていこうとは毛頭思っておりません。県とも一緒になってやろうと思っておりますし、いろいろなマスメディアの方、発信力のある方とも一緒になって、先ほども言いましたように、市民、県民を飽きさせないように、もう油断させないように、

今が我慢のしどころだということを強く意識づけするというのが、何よりも早く一特効薬なり治療薬が1年ぐらいかかると言われていますが—それまで何とかみんな頑張ろうというような思いを共有するためにも、このキャンペーンを展開するということは非常に重要なことだと我々は思っておりますので、またひとつ応援のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

久保委員

どなたも言われないので。

自民党としては、こういう危機的な状況の中で、厚生やこども関連以外の市職員の皆さんが本当に昼夜を問わずに対応に当たっておられるというのは十分よく分かっておりますし感謝をしております。自民党会派の議員全員がそういう思いで、皆さんを応援していこうという立場に立っております。

その中で、皆さんが現場で必要だと思われたときにちゅうちょなく対応をしていくということは大変重要なことだと思っておりますので、議会にかけるいとまがない場合には専決ということも、必要であればやっていただきたいと思っております。

その中で、今回の議案の提出の仕方なのですけれども、どこかのものを流用すると、この

ように議案に出てきたときにもう既に終わったものと、これからやっていきたいものが混在化したところで私たち議会が審議を凶っていくというのは大変難しいところもあるわけです。過去のことについては、専決であれば私たちは承認をするというのが自民党の基本的なスタンスでありますので、どうぞ今後は、そういった意味では、予算流用をできるだけせずに、財政調整基金を切り崩したりしながら、専決の部分は専決、今後、予算を確保してやっていきたいものについては議案として提出をしていただくとというような形に変えていただきたいというのが要望の1つであります。

その上で、先ほど部長はあまり意図なく言われたのだと思いますが、市民の皆さんからは、県と市の連携がうまくいっていないのではないかと、CM1つ取っても、県がやっているのと市がやっているのは重複しているのではないかとというような御意見を多々頂くことがあります。

市が先だった、これはもう皆さんよく分かっております。議員も分かっておりますし、市民も分かっております。ちょっとした言葉遣いをメディアが一今日は入っていませんが一ピックアップして、本質とは違うような議論

に入っていくことがありますので、部長にはその辺の発言には十分注意をしていただきたいと思います。

最後に、これは質問というか御意見を頂きたいのですが、子どものストレスが大変大きくなってきております。情報を発信するという意味では、確かに市長もトップリーダーとして大変発信力があるのですが、富山市にはペロリッチもおりますので、例えば子どもたちに「明るい未来が近づいてきているぞ」というような、希望が持てるような、そういったメッセージについても検討していただきたいと思いますが、部長の御所見をお伺いしたいと思います。

企画管理部長 今御指摘いただいたことは十分反省いたしました。そういう意図があって富山市が先に言ったとかということは全く考えておりませんので一少なくとも県が、市がというようなことは毛頭考えておりませんので、そこは両方しっかり勉強しながら、引き続きやっていきたいと思っております。

それから、今ほど久保委員から御提案のありました、子どもたちに少しでも明るい未来が展望できるような、そういったコマーシャルといいますかキャンペーンみたいなものにつ

きましては、一番最初に職員が作ったポスターはペロリッチを組み入れたポスターを作っておりましたけれども、やはり今、子どもたちも休校が長引いておりますし、保育所の登園自粛というようなこともありまして、みんながストレスを感じているような状況にあらうかと思えます。我々のほうで、子ども向けのものにつきましても、そういった観点から、ぜひまた検討を進めていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

上野委員

今ほど部長のほうから、様々な手段を講じていきたいというふうに言われたことは大変心強く感じました。

ただ、若い世代の方たちは、例えばテレビですとか新聞といった報道ではなくて、インターネットですとかSNSを主体にされている方がちょっと増えてきているのではないかなと感じるのですけれども、そういった媒体を通じてこうしたキャンペーンに取り組まれることはもう既に考えておられるのですか。

広報課長

広報課では、フェイスブック等のSNSでペロリッチや、富山市のアカウントを持っていますので、そこでの発信は今後検討していき

たいと思っております。

（「もうやっているでしょう」と発言する者あり）

広報課長 一応、ペロリッチ、市長のCM等は、SNSでは当初より流しております。

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。
これより、議案第87号中企画管理部所管分の意見の表明を行います。
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。
以上で、企画管理部所管分の議案の審査を終了いたします。

午前11時25分 休憩

~~~~~

午前11時37分 再開

分科会長 これより、総務文教分科会教育委員会所管分の議案の審査を行います。



議案第87号 令和2年度富山市一般会計補正予算（第1号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出第10款教育費を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

教育委員会事務局長 〔挨拶〕

教育総務課長 〔議案概要書により説明〕

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 ないようですので、以上で議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第87号中教育委員会所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、教育委員会所管分の議案の審査を終了いたします。

教育委員会事務局の皆さんは退室願います。  
説明員を交代しますので、しばらくお待ちください。

〔教育委員会事務局退室／財務部入室〕

分科会長           これより、総務文教分科会歳入の議案の審査を行います。  
議案第87号 令和2年度富山市一般会計補正予算（第1号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳入全部を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

財務部長           〔挨拶〕

財政課長           〔議案概要書により説明〕

分科会長           これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

赤星委員           お疲れさまです。  
今、御説明いただきました繰入金ですけれども、この5億2,355万9,000円は全部財政調整基金の取崩しなのでしょうか。

財政課長 今ほど申し上げましたとおり、繰入金につきましては全部財政調整基金でございます。

赤星委員 今回取り崩して繰り入れた後の財政調整基金の残高というのは幾らになるのでしょうか。

財政課長 財政調整基金の残高見込みにつきましては、令和元年度末残高見込みは73億5,257万円余りでございます。令和2年度の積立金は737万円余りでございまして、今回の5月臨時会の取崩し5億2,355万円を差引きいたしますと、5月臨時会後の残高見込みといたしましては、68億3,639万円ほどでございます。

分科会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。これより、議案第87号中歳入全部の意見の表明を行います。意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長 意見の表明なしと認めます。以上で、総務文教分科会歳入の議案の審査を終了いたします。

これで、5月臨時会の当分科会に送付されました議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和2年5月臨時会の予算決算委員会総務文教分科会を閉会いたします。

令和2年5月臨時会  
予算決算委員会総務文教分科会記録署名

分科会長 成 田 光 雄

署名委員 久 保 大 憲

署名委員 上 野 蛍